

新まちづくり計画 (H16 ~ 18) 事業総括調書

施策体系コード	1-1-2	1-4-1	事業名	首都圏市場開拓イニシアティブ事業
担当	総務局東京事務所 水野 03-3216-5090			
全体計画 (当初)				
事業内容	札幌市の情報技術関連企業の首都圏進出をハード・ソフト両面から支援するため、東京事務所のビジネス拠点整備、人や企業の交流促進、販路拡大モデル事業、ビジネスラウンジでの各種問い合わせ対応及び軽易なコンサルティング並びに民間との協働によるコーディネート事業などを首都圏の現場密着型で継続的に実施する。		<年度別の事業内容>	
			【平成16年度】 首都圏販路拡大モデル事業 ビジネスラウンジ運営事業 ビジネスラウンジ整備 【平成17年度】 首都圏販路拡大モデル事業 ビジネスラウンジ運営事業 【平成18年度】 首都圏販路拡大モデル事業 ビジネスラウンジ運営事業 首都圏販路拡大スタートアップ事業	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成16年度事業内容 (決算)		平成17年度事業内容 (決算)	
	首都圏販路拡大モデル事業 決算額 6,042千円 1.札幌市の情報技術関連企業の首都圏での販路拡大を支援するため、東京事務所に首都圏企業を集め、札幌企業のプレゼンテーションを実施した。 6回開催 (平成16年8月～平成17年2月まで12月を除き月1回開催) 【参加札幌企業数】 11社 【参加首都圏企業数】 延べ148社 【契約成立額】 4社6契約 38,500千円 2.首都圏販路拡大セミナー開催 札幌企業の経営者を対象に首都圏での販路拡大についてのセミナーを開催した。 【参加者数】 42名 ビジネスラウンジ運營業務 決算額 2,978千円 東京事務所内に整備したビジネスラウンジを札幌企業の首都圏での営業拠点として開放するとともに、ラウンジコーディネータが首都圏での販路拡大ノウハウを提供した。 【ラウンジ利用者数】 延べ402人 ビジネスラウンジ整備費 決算額 283千円 インターネット及びプリンター使用環境を整備した。		首都圏販路拡大モデル事業 決算額 6,110千円 1.平成16年度と同様に札幌市の情報関連企業のプレゼンテーションを実施した。 6回開催 (平成17年7月～平成17年3月まで隔月開催) 【参加札幌企業数】 12社 【参加首都圏企業数】 延べ162社 【契約成立額】 5社13契約 147,300千円 2.首都圏販路拡大セミナー開催 平成16年度と同様に実施した。 【参加者数】 38名 ビジネスラウンジ運營業務 決算額 2,933千円 平成16年度と同様に実施した。 【ラウンジ利用者数】 延べ449人 札幌企業意識調査の公表等 決算額 186千円	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成18年度事業内容 (決算)		評価 (成果)	
	首都圏販路拡大モデル事業 決算額 6910千円 1.昨年度と同様に札幌市の情報関連企業のプレゼンテーションを実施するとともに、受託系企業などプレゼンにそぐわない企業に対しては、個別コーディネートも実施した。 プレゼン大会は2回開催 (個別コーディネートは随時) 【参加札幌企業数】 10社 【参加首都圏企業数】 延べ87社 【契約成立額】 2社3契約 179,200千円 2.首都圏販路拡大ビジネスフォーラムの開催 市内支援機関、関係団体等に対し、5年間の取組み、成果などを明らかにしながら、今後の取組みの方向性について意見交換を行うため開催した。 【参加者数】 28名 ビジネスラウンジ運営事業 決算額 2,866千円 昨年度と同様に実施した。 【ラウンジ利用者数】 延べ306人		・ビジネスラウンジの利用者は延べ1,157人 ・首都圏企業のネットワークは、平成15年度の10社から100社超となり拡大に成功している。 ・販路拡大モデル事業に参加した札幌企業は、延べ30社となる。これまでに7社22契約、総額365,000千円の成約に成功している。 ・札幌市のIT企業の技術力の認知度が上昇し、技術集積都市としての札幌をPRできた。	
19年度以降の方向性・事業の予定				
・ビジネスラウンジの運営を継続し、引き続き人や企業の交流促進、販路拡大に関する問い合わせへの対応などの支援を実施する。 ・首都圏での販路拡大事業については、これまで蓄積した手法を有効活用するため、関連部局・団体との連携を深めながら、支援対象業種の拡大を図る。				

